2021年10月15日

10代·20代の男性と保護者の方へのお知らせ

新型コロナワクチン接種後の心筋炎·心膜炎について

ファイザー社と武田／モデルナ社の新型コロナワクチン接種後に、ごくまれに、心筋炎·心膜炎を発症した事例が報告されています。**特に10代·20代の男性の2回目の接種後4日程度の間に多い傾向があります。**

■10代·20代の男性も、引き続きワクチンの接種をご検討ください。

○新型コロナウイルス感染症に感染した場合にも、心筋炎·心膜炎になることがあります。感染症による心筋炎·心膜炎の頻度に比べると、ワクチン接種後に心筋炎·心膜炎になる頻度は低いことがわかっています。

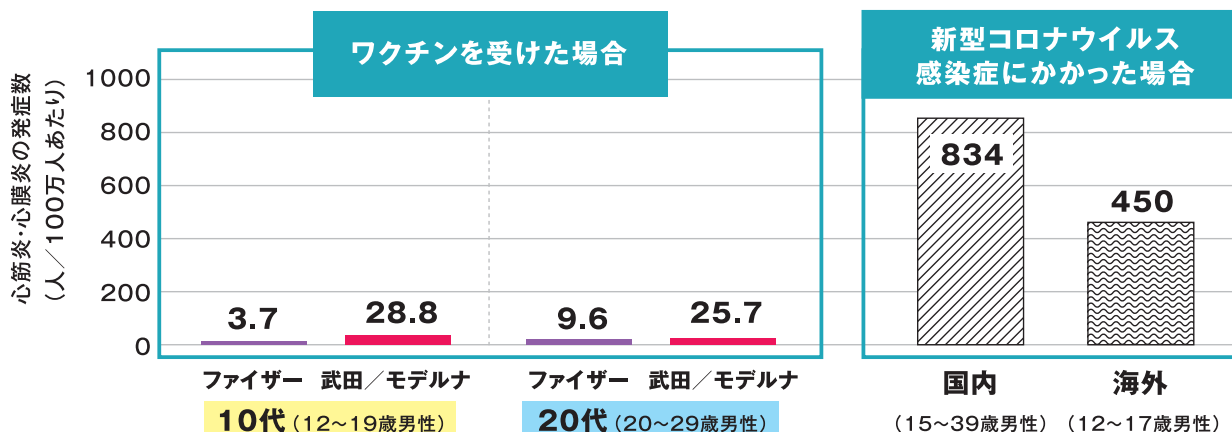
○新型コロナワクチンは、発症予防効果などの接種のメリットが、副反応などのデメリットよりも大きいことを確認して、皆さまに接種をおすすめしています。しかしながら、ワクチン接種は、あくまでご本人の意思に基づき受けていただくものです。ご本人が納得した上で、接種をご判断ください。

■10代·20代の男性は、ファイザー社のワクチンの接種も選択できます。

○10代·20代の男性では、武田／モデルナ社のワクチンより、ファイザー社のワクチンの方が、心筋炎·心膜炎が疑われた報告の頻度が低い傾向がみられました。

○武田／モデルナ社のワクチンを**予約中の方**も、武田／モデルナ社のワクチンを**1回目にすでに接種した方**も、ファイザー社のワクチンを希望する場合は、**予約を取り直していただければ、ファイザー社のワクチンを受けられます。**

○なお、ご本人または保護者が希望する場合には、武田／モデルナ社のワクチンを受けることもできます。

〈 心筋炎·心膜炎が疑われた報告頻度の比較（男性）〉

出典:第70回厚生科学審議会予防接種·ワクチン分科会副反応検討部会、令和3年度第19回薬事·食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（令和3年10月15日開催）資料

ワクチン接種後4日程度の間に胸の痛み、動悸（どうき）、息切れ、むくみなどの症状がみられた場合は、速やかに医療機関を受診して、ワクチンを受けたことを伝えてください。

○こうした症状は、心筋炎·心膜炎の典型的な症状です。ただし、そのほかの原因でもこれらの症状となることがあります。医師の診察を受けましょう。

○心筋炎·心膜炎と診断された場合は、一般的には入院が必要となりますが、**多くは安静によって自然回復します。**

〈 日本国内の10代・20代で、ワクチン接種後に心筋炎・心膜炎が疑われた報告頻度 〉

（ワクチンを受けた100万人あたり）

年齢	男性		女性	
	ファイザー社	武田／モデルナ社	ファイザー社	武田／モデルナ社
12～19歳	3.7	28.8	2.2	0.0
20～29歳	9.6	25.7	1.1	1.4

※1回目接種後と2回目接種後の報告の合計値より算定（令和3年10月15日報告時点）

Q：10代・20代の男性以外でも武田／モデルナ社ワクチンの方が、心筋炎・心膜炎が多いのでしょうか。

A：令和3年10月15日時点における解析では、10代・20代男性以外の報告頻度については、ワクチン間に差はありません。
最新の値や他の年代の報告頻度は、ホームページをご覧ください。

厚生労働省 新型コロナワクチンQ&A:
https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0079.html

Q：若者はワクチンを打たない方がよいということでしょうか。

A：日本で接種が行われている新型コロナワクチンは、いずれも、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果も報告されています。海外だけでなく、実際に日本において感染が拡大した時期でも、若者の感染者の増加が確認されており、引き続き若者に対してもワクチンの接種をおすすめしています。

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労　コロナ　ワクチン　検 索

ワクチンを受けた後も、マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします。

新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果が確認されていますが、その効果は100%ではありません。また、ウイルスの変異による影響もあります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。

具体的には、「3つの密（密集・密接・密閉）」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。